

概念型指導で育てる学習方略と主体性！
—中学英語教科書を用いた思考する教室づくり—
溝畠保之先生(桃山学院大学人間教育学部・非常勤講師)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<https://smizok.com/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

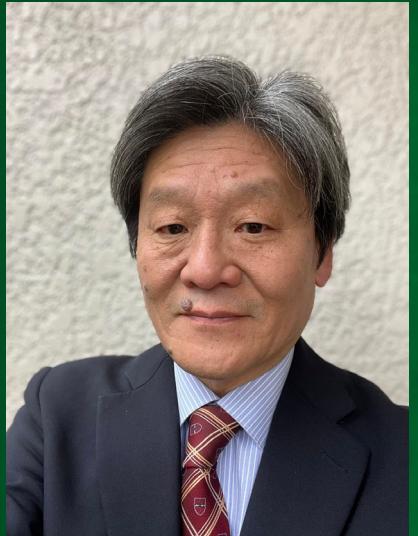
【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。
＊詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

(ご紹介)



溝畠保之
みぞはた やすゆき



桃山学院大学・人間教育学部・非常勤講師

英國バーミンガム大学院ESL修士。大阪府立高校で英語四技能型の実践を行い、指導教諭（平成21～28年）、私立中学校高等学校特任教諭（平成31年～令和4年）を経て現職。「英検」研究助成（第8回、第17回）入選。2011年度大阪府優秀教職員等表彰。

分担執筆『英語指導ハンドブック-5つのシリーズ』（大修館書店, 2006, 2010, 2012, 2016, 2018）, 『シャドーイングと音読英語トレーニング』（コスモピア, 2007）, 『高等学校におけるアクティブラーニング 事例編 (アクティブラーニング・シリーズ 第5巻)』（東信堂, 2016）, 『英語×「主体的・対話的で深い学び」-中学校・高校 新学習指導要領対応』（大学教育出版, 2021）

それではご覧ください

- 研究、著書、実践等の紹介
- 溝上との議論

「概念型指導で育てる 学習方略と主体性!— 中学英語教科書を用いた 思考する教室づくり」

概念型指導プロジェクト
(代表)溝畠 保之
桃山学院大学

1. 概念指導プロジェクト
2. 概念、一般化と転移
3. 3観点別と概念型での
知識の構造とプロセスの構造
4. 概念型探究のサイクルと概念型活動
5. 事実、概念、討論の3種類の問い合わせ
6. 教科書を用いた3事例

事例① 中1 NC Lesson 2 “My Hero” 憧れの人物

事例② 中2 NH Unit 3 “My Future Job” 「働く」意味を考える

事例③ 中2 NC Lesson 3 “My Dream” 将来の夢と職場体験

7. 年間思考力・英語力調査 中間分析

概念型指導プロジェクト

【プロジェクトの目的とメンバー概要】

小・中・高の外国語(英語)教育での概念にもとづく授業開発
実践と修正を繰り返す共同アクション・リサーチ
小・中・高・大学の教員20名による共同実践研究プロジェクト
オンライン・会議多用



【理論的基盤となる書籍】

『思考する教室をつくる 概念型カリキュラムの理論と実践』

H. L. エリクソン, L. A. ラニング, R. フレンチ (2020)

『思考する教室をつくる 概念型探究の実践』

K. マーシャル, R. フレンチ (2024) ※いずれも北大路書房刊

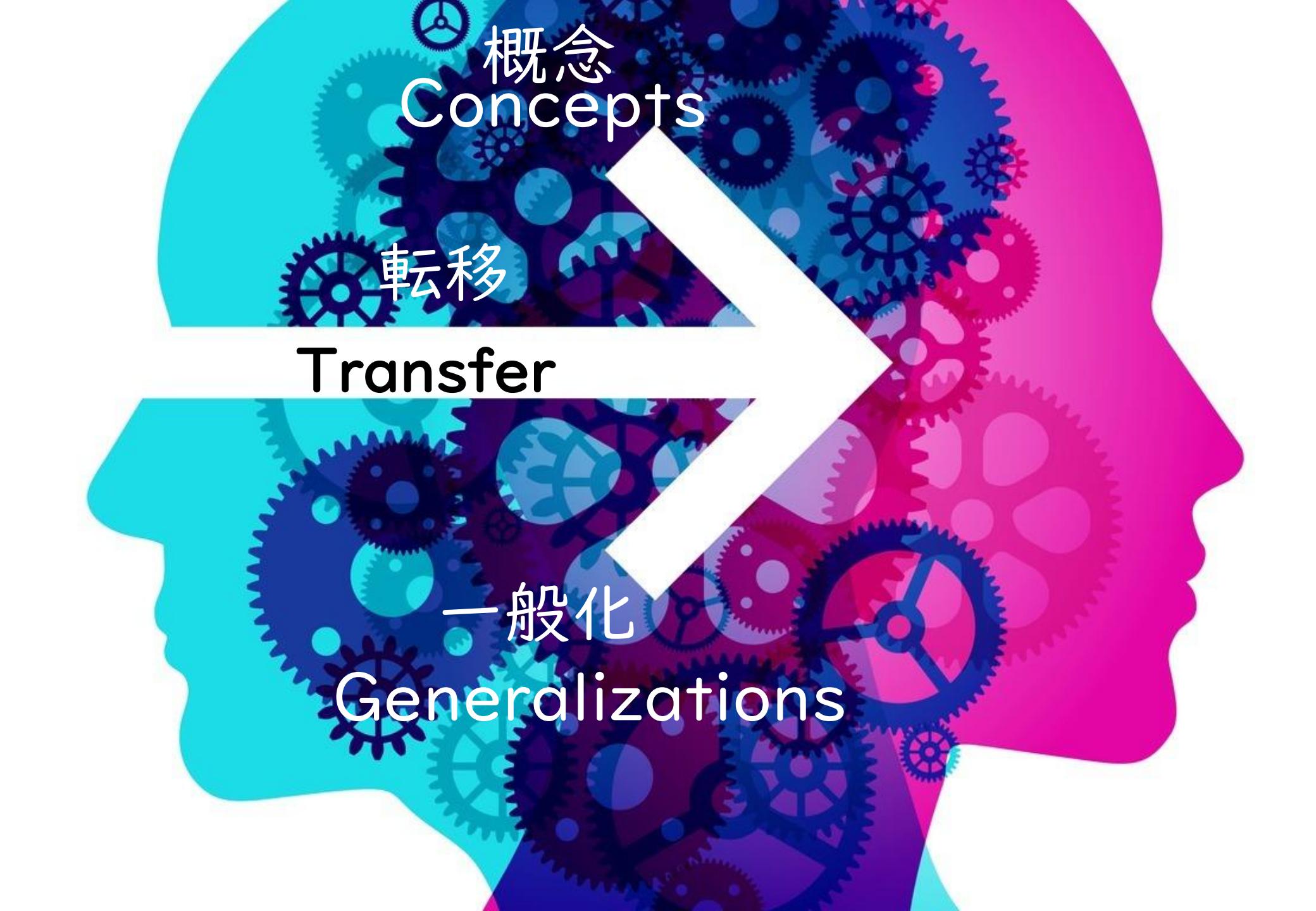


【これまでの発表】

「関西英語教育研究会:ハーベスト」「全国英語教育学会」

「英語授業研究学会」などで共同発表

note にて授業案等を発信 <https://note.com/conceptnavi/all>



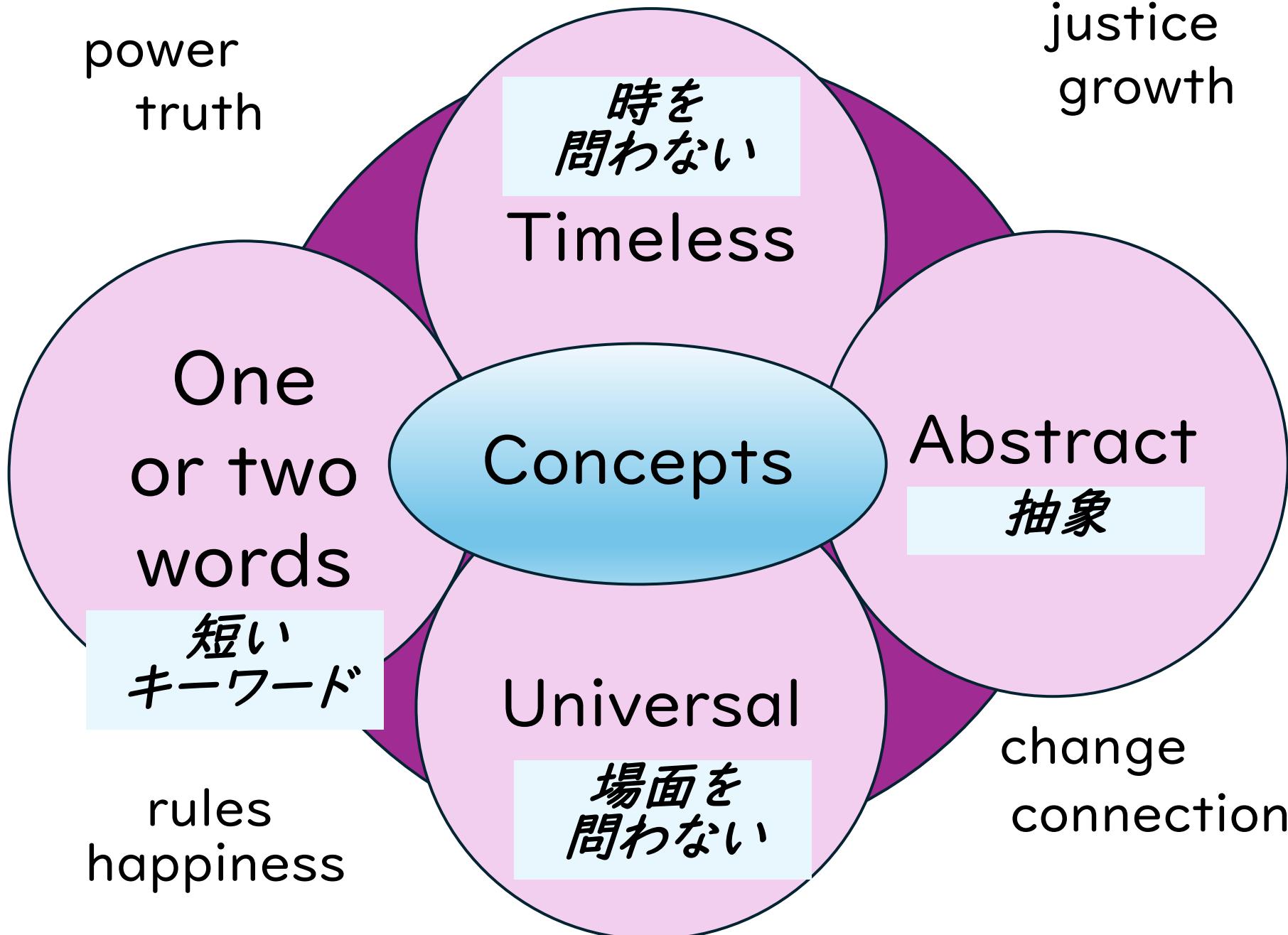
概念
Concepts

转移

Transfer

一般化

Generalizations



トピ 概念	桃太郎	アンパン マン	免疫
ヒーロー	桃太郎	アンパンマン	マクロ ファージ
仲間	猿、犬、雉	ジャム、バタコ	T細胞、S細胞
悪	鬼	バイキンマン	病原体

一般化: ヒーローは仲間とともに悪を退治する

複数の概念 例:ヒーロー 仲間 悪

- ◆意味のあるつながりを見出す
比較・分類・因果関係・時系列
- ◆3種類の問い合わせ
事実・概念・議論
(factual, conceptual, debatable)
- ◆思考と言語を統合する

一般化の文を作成
例: ヒーローは 仲間とともに悪を退治する

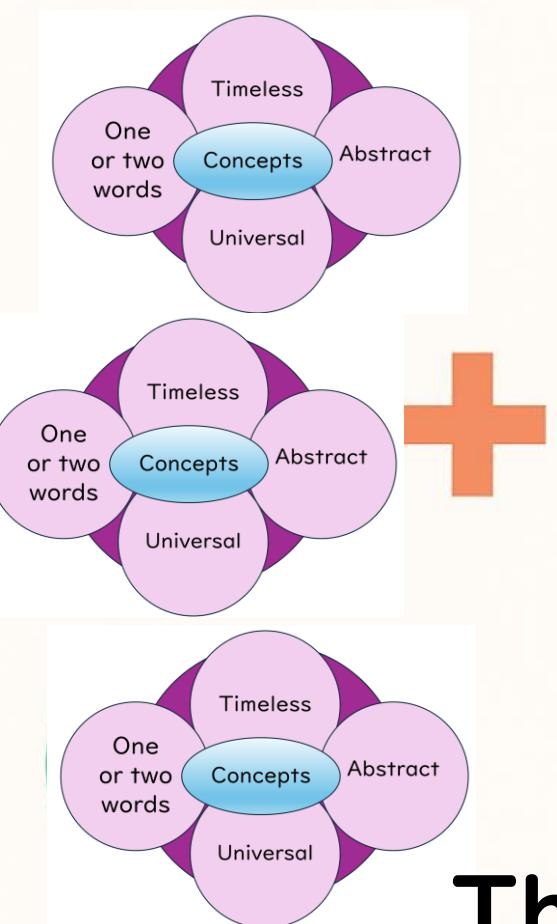
効果・利点

- 思考力・表現力の向上
- 文法・語彙の定着と活用

学習
方略

主体的・
探究的な
学びの促進

複数の概念を組み合わせ一般化したものを転移させる Combining Concepts to Generalize and Transfer



Generalized Statement
Thinking Classroom
考える教室

Transfer

負のモチベーションの理論

**NEGATIVE
MOTIVATIONAL
THEORY**



GRADES K - 3

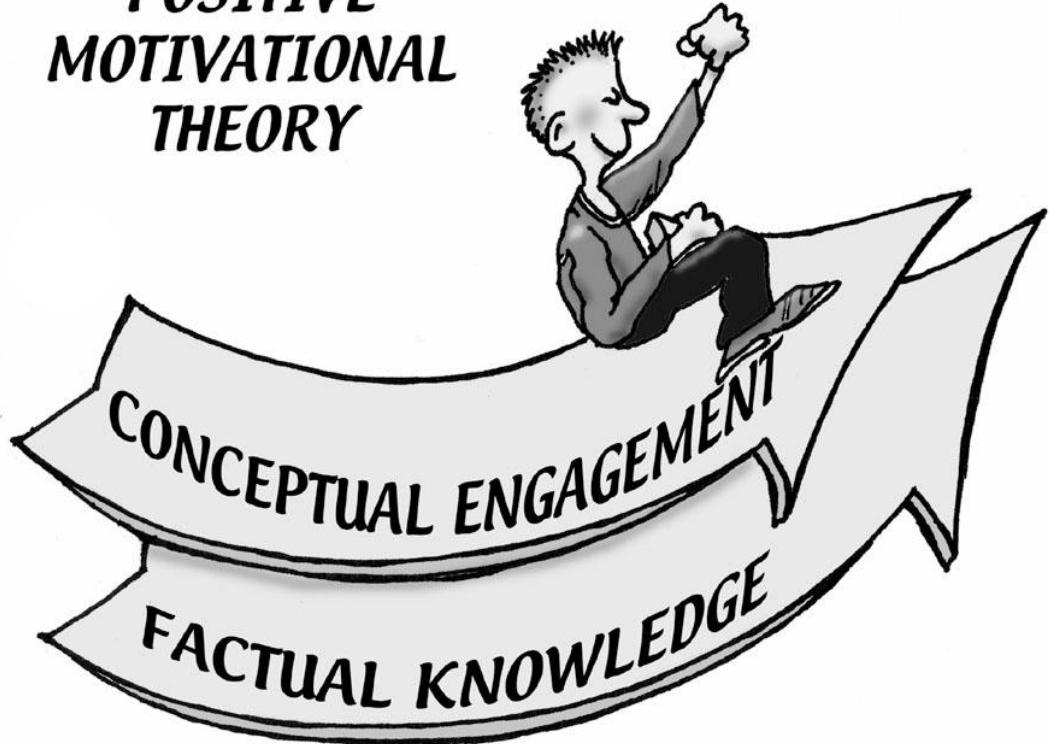
事実に
関する
知識

**GRADES
4 - 12**

概念型の
取り組み

正のモチベーションの理論

**POSITIVE
MOTIVATIONAL
THEORY**



GRADES 4 - 12

- ・事実と概念のバランス
- ・知識を学びながら
概念マインドに訴えかける

学習指導要領

3観点別評価

知識・技能

思考・判断・表現

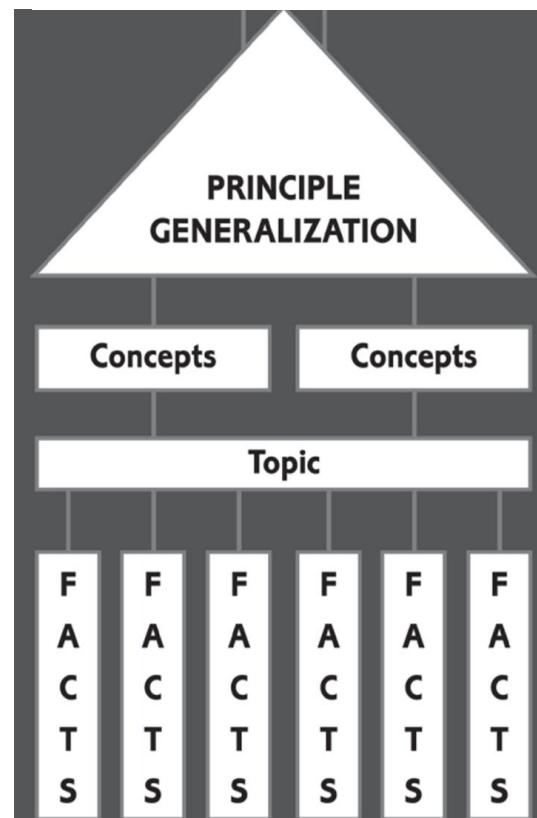
主体性



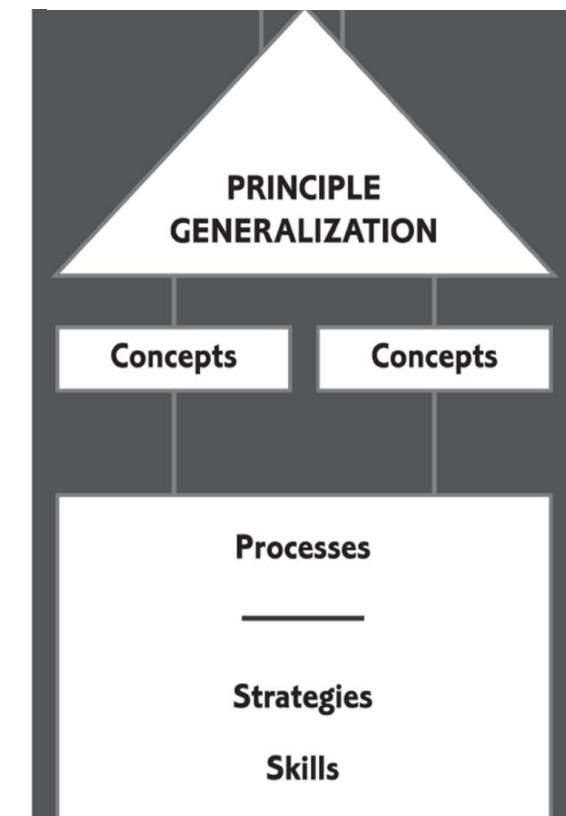
概念型指導

知識の構造 プロセスの構造

Structure of Knowledge

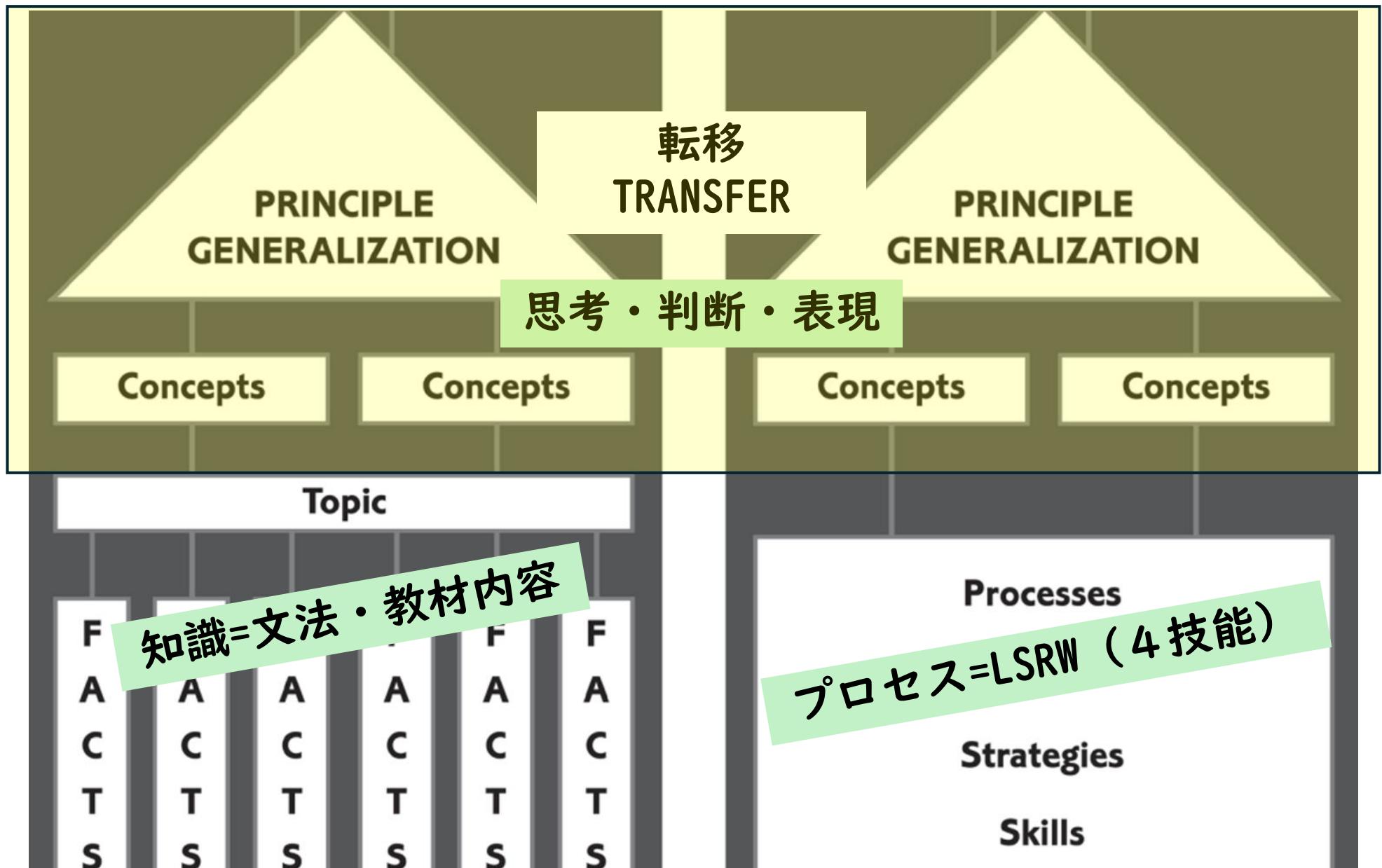


Structure of Process



Structure of Knowledge

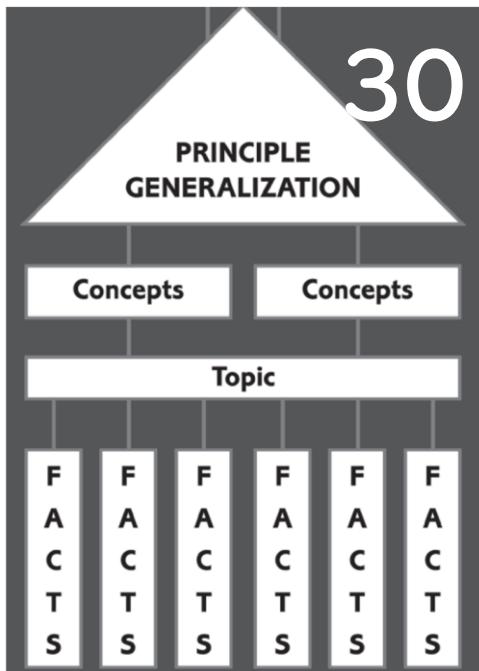
Structure of Process



主 体 性

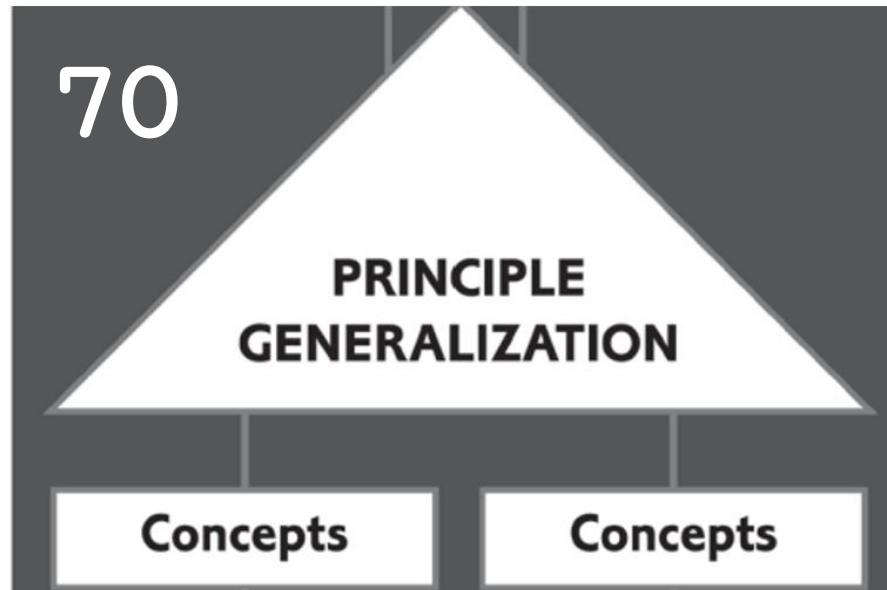
実技科目での知識とプロセスのバランス

Structure of Knowledge



【外国語学習】
「知っている」こと
「使える」こと
・実践的に話したり
書いたり、協働で
課題解決をしたり
するプロセスが不
可欠

Structure of Process



	知識	プロセス
音楽	コード進行の理解	演奏→修正→表現の工夫
体育	理想のフォームの解説	動作→フィードバック→再挑戦

実技科目としての 外国語(英語)

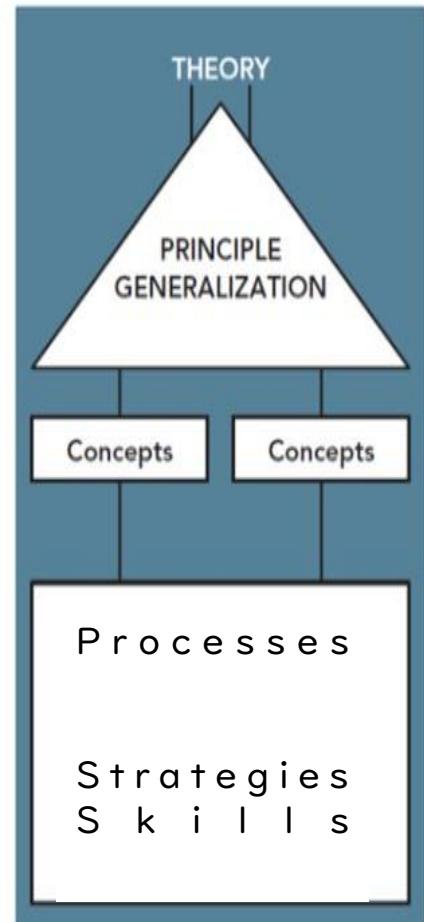
プロセス の構造

音読

帶活動

一分間
チャット

Structure of Process
Lanning, © 2012



素材、目的
定着度に
より隨時
変更

文脈からの
意味解釈を
音読で伝える

意味 文脈 解釈

相手 理解 語順

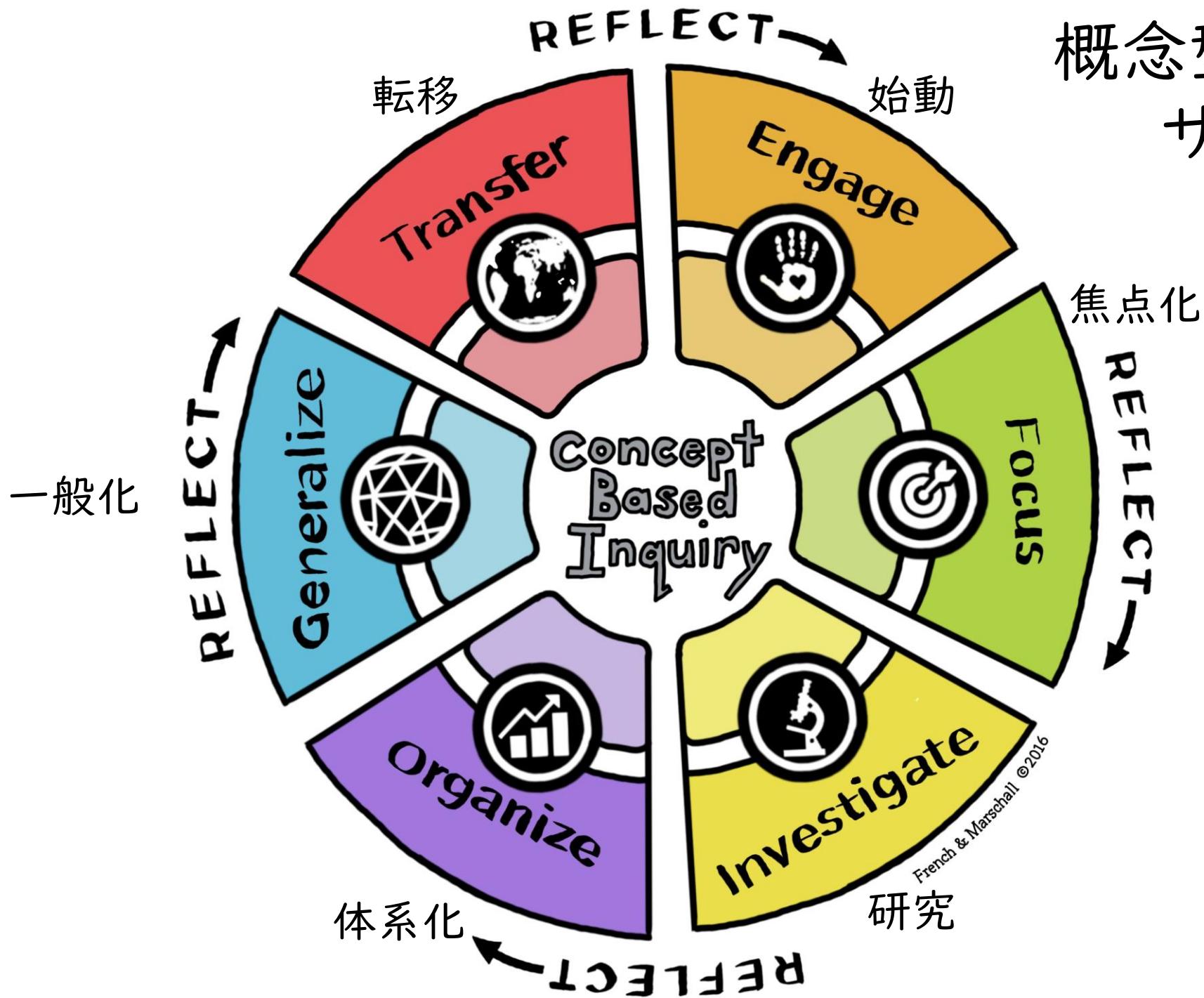
文字音声化プロセス

発音向上 流暢さ
子音 母音 強弱

英語語順で語るプロセス

主語の有無 語順 構造
主語 動詞 目的語

概念型探究 サイクル



日本の教室で使いやすい思考を促す協働活動 (マーシャル&フレンチ, 2024より改変)

91	7母語とのつながり Mother Tongue Connections	母語を共有する仲間と学び合う。複雑で深い思考は母語を用いる。2言語で問い合わせをたてる、マッピングする。Translanguaging母語の使用を禁止するのではなく、学習の資源として活用することで、自己肯定感や学習意欲を高める。
105	8フレイヤーモデル Frayer Model	概念を中心に書き、左上に定義、右上に特徴、左下に例、右下にそうでない例を書く。上段に、必須の条件と非必須の条件を用いてもよい。
115	9グループング Group, Describe, Name	複数の事物をグループに分け、そのグループを説明し、名付ける。 Interesting! What are in the group? Explain.と求め理由を引き出す。
117	10概念クイズ Concept Riddle	例 I am part of nature. I can make energy. I need the sun. I am often green in color. Who am I? Answer: a plant.
119	11創り出し、組み合わせる Create, Combine	3目並べの中央に、例としてinnovationと記入する。他の8か所を埋める。紙を横の人間に説明し合う。逆の方向の人間に説明する。4名のものを比較し、組み合わせ定義を生み出す。クラスでinnovationの概念を共有する。
123	13ダイヤモンドランキング Diamond Ranking	ランク付けする事例を9つ提示する。協働しながらカードの優先順に並べる。再優位が頂上で次に2つ、次に3つとし、4ランク目は2つ最下段にひとつ置く。他のグループと比較し、なぜそのランキングになったか話し合う。
125	14概念グラフ Concept Graphs	例 「持続可能」を縦軸、「収益性」を横軸のグラフを作成する。複数の環境対策をグラフに配置し話し合う。
129	15アナロジー Analogy	... is like ~ because it ... のように概念の特徴を比喩で示し、理由を考える。複数の比喩を提示して、その概念を当てるゲーム形式にすることも可。

3種類の問い合わせ

種類	目的	特徴
Factual Question	事実の確認	答えが一つ・情報理解
Conceptual Question	意味や関係の探究	一般化や原理への気づき
Debatable Question	価値判断・多様な意見形成	討論や思考の拡張を生む

知識、プロセスの構造で目標を明確にし、
3種類の問いと協働活動を探究サイクルに逆向き設計

BACKWARD DESIGN

Wiggins & McTighe, 2005



Objectives



Assessments



Learning Activities

知識/プロセス
の構造

教科書の
テーマ・内容

understand / do

理解/行動

定期考査
筆記

accuracy
正確性

パフォーマンス
課題

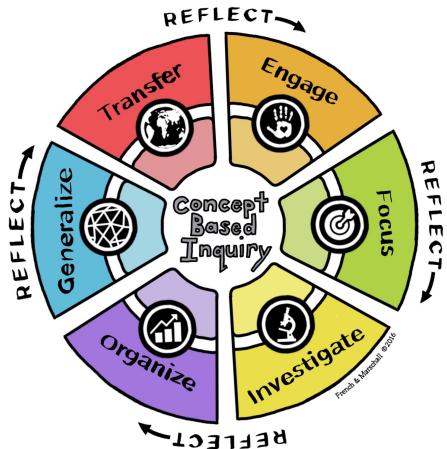
fluency
即興性
流暢性

3種類の問い

事実に関する
概念的な
議論を喚起する

depth
深さ

逆向き
設計



Learn
as you use,
use as you learn
使って学ぶ

『概念型探究の
実践』(M&F)
ストラテジー

教科書の
練習・活動

教科書を用いた3事例

事例① 中1 NC Lesson 2 “My Hero”
憧れの人物

事例② 中2 NH Unit 3 “My Future Job”
働くことの意味を考える

事例③ 中2 NC Lesson 3 “My Dream”
将来の夢と職場体験

教科書を用いた3事例

事例① 中1 NC Lesson 2 “My Hero”
憧れの人物

事例② 中2 NH Unit 3 “My Future Job”
働くことの意味を考える

事例③ 中2 NC Lesson 3 “My Dream”
将来の夢と職場体験

中学1年生

4月自己紹介

イラスト作成

My name is ...

I am ...

I am good at ...

I can ...

スピーキング

6月 My hero / heroine

マッピング

My hero is ...

S/he is a (職業)

S/he is (どんな人か)

S/he is good at ...

S/he can ...

I like him/ her because...

ペアワーク／スピーキング

12月 Project

My Ideal Robot

マッピング

My ideal robot is ...

S/he/ It is ...

S/he / It is ...

S/he / It is good at ...

S/he / It can ...

I like ...

/I often ...

ペアワーク／ライティング

名前

性格・職業

得意なこと

できること

名前

形状・色

得意なこと

できること

関係性

概念を雪玉のように
拡張し転移させる



事実質問 What can you / it do?

概念質問 Does “what you can do” show who you are?

議論質問 Can a robot be a friend, not only a machine?

中学1年生

時期	4月 自己紹介	6月 My hero / heroine	12月 My Ideal Robot
ツール	イラスト作成	マッピング	マッピング
言語支援	<p>My name is ... I am ... I am good at ... I can ...</p>	<p>My hero is ... S/he is a (職業) S/he is (どんな人か) S/he is good at ... S/he can ... I like him/ her because...</p>	<p>My ideal robot is ... S/he/ It is ... S/he / It is ... S/he / It is good at ... S/he / It can ... I like ... /I often ...</p>
成果物	スピーキング	ペアワーク／スピーキング	ペアワーク／ライティング



名前
性格・職業
得意なこと
できること

概念を雪玉のように
拡張し転移させる

名前
形状・色
得意なこと
できること
関係性

事実質問 What can you / it do?

概念質問 Does “what you can do” show who you are?

議論質問 Can a robot be a friend, not only a machine?

まとめ 生徒の振り返り記述は、以下のように変化

	自己紹介	My Hero (他者紹介)
活動の起点	自分の内面・関心をイラストに 自己を語りたい	他者の特徴・情報をマッピング 他者の魅力を語りたい
語りの構築	絵に込めた気持ちを語る	他者理解のために順序整理した構成
言語的調整	音声・動作・記憶中心の自己調整	検索と選択による語彙獲得、構文利用
言語的挑戦	自分の語彙で語る	語彙選択・構文操作・表現精度
対人関係形成	主に個人の語りと聴衆への配慮	他者からの支援、協働と共有伝達責任意識

図1 SCAT分析

教科書を用いた3事例

事例① 中1 NC Lesson 2 “My Hero”
憧れの人物

事例② 中2 NH Unit 3 “My Future Job”
働くことの意味を考える

事例③ 中2 NC Lesson 3 “My Dream”
将来の夢と職場体験



トライやる・ウィーク

「心の教育」を充実させるための5日間職業体験などを行う。

福祉事業所
ペットショップ
自然体験センター
パン工場

小学校
図書館
コスメティック



Topic	「働くこと」を通して、将来について考えよう
Concept	自己理解 表現力 柔軟性 気配り 表情力 生きがい 勤労 公徳心
Generalization	自己理解をすることで、勤労の意味や生きがいを見つけることができる
Questions	①登場人物のアナはどこで働き、何をすることが大切と考えているのだろう ②「働く」ことの意味は何だろう ③人は働く必要があるのか
Activity	トライやる・ウィーク 英語絵日記
Output	各自発表

The first day, I made bread with people there.
I was very nervous.
We opened a small cafe.
I took some sweets.
It was fun.

The second day, I sold a lot of bread.
I made bread in the morning.
All the bread was sold.
I was glad.

The fifth day, I did my best.
I was not nervous.
I made a lot of bread,
and I sold the bread.
Next, I cleaned the park.

The third day, I made a lot of bread.
We were busy because we made a lot of bread.
I sold the bread.
It was hard.

The fourth day, I washed cars.
I washed three cars and I talked to people there.
I cleaned the park.
It was hot.



It was very fun to experience new things.

生徒の感想

D先生にした時よりも、緊張しました。緊張し過ぎて、ジェスチャーとか、カメラを見るとかあまりできませんでした。聞き手の質問に答えて、少し話ができるよかったです。始まる前はやりたくなかったけど、楽しかったのでまたやりたいです。

自分が発表するときに紙を見ずに言うことができましたが、ジェスチャーが少なかったので、しっかりジェスチャーをしたいです。みんな積極的に質問をしていたのでとても話をしやすかったです。自分が発表している時に、みんなが真剣に話を聞いてくれてうれしかったです。

自分との
対話

新たな自分
の発見

達成感より
自己有用感

教科書を用いた3事例

事例① 中1 NC Lesson 2 “My Hero”
憧れの人物

事例② 中2 NH Unit 3 “My Future Job”
働くことの意味を考える

事例③ 中2 NC Lesson 3 “My Dream”
将来の夢と職場体験

中学2年 英語でスピーチ『将来の夢』 単元計画

第1時	パフォーマンス課題の提示、「confidenceとは何か」について記入	導入
第2時	6つの概念に関するメタファーゲーム	
第3時	dreamとgoalに関するメタファーを共有	
第4時	モデルスピーチ理解、6つの概念と結びつける、confidenceに関する名言を知る	
第5時	教科書L3 Part1本文理解 interest, excitementについて自己表現	
第6時	教科書L3 Part2本文理解 goalについて考える	概念抽出
第7時	教科書L3 Part3本文理解 田村さんのconnectionを見つけ出す	
第8時	6つの概念に基づき、自分の未来についてブレインストーミング	
第9、10時	スピーチ下書き、校正	整理
第11時	スピーチ音読、練習	
第12、13時	スピーチ発表	
第14時	振り返り 「confidenceとは何か」について記入	一般化

Concept Riddle Analogy を応用した Metaphor Game (ジグソー法)



ジグソーフ法で概念クイズ

Expert Group

⑥ ①
⑤ ②
④ ③

confidence

⑥ ①
⑤ ②
④ ③

connection

⑥ ①
⑤ ②
④ ③

goal

⑥ ①
⑤ ②
④ ③

dream

⑥ ①
⑤ ②
④ ③

interest

⑥ ①
⑤ ②
④ ③

excitement

メタファー
カードを
完成

Read &
look-up
音読
練習

Jigsaw Group

$$7\text{名} \times 4 + 6\text{名} \times 2 = 40\text{名}$$

概念抽出： メタファーゲーム

6つの概念の意味を、メタファーとその理由を、英語で表現でき、他者のメタファーから概念がわかるようにする。

Step 1: Read the sentences and understand the meanings.

Step 2: Choose the most appropriate word to fill in ().

Step 3: Practice oral reading.

配られた概念
メタファー
カード

Dreams

It is like a map because it helps you find your way.

It is like a picture because you make it with your ideas.

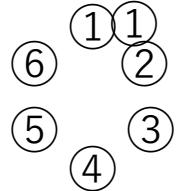
It is like a () because it grows little by little.

compass key puzzle piece seed mystery book

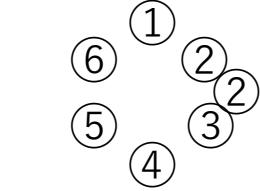
ジグソーフ法で概念クイズ

メタファー
カードを
完成
Read &
look-up
音読
練習

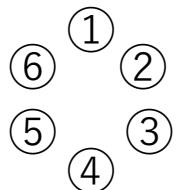
Expert Group



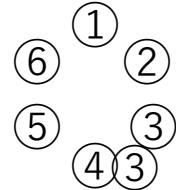
confidence



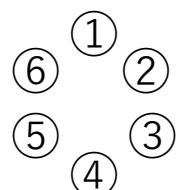
connection



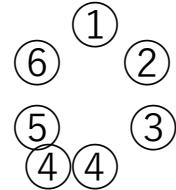
goal



dream

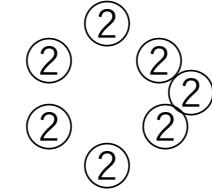
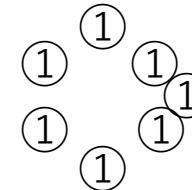


interest

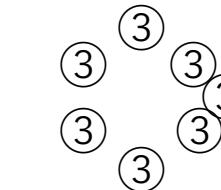


excitement

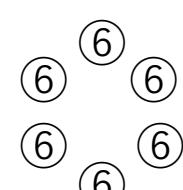
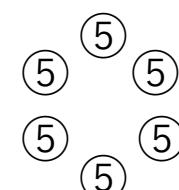
Jigsaw Group



同じ番号
で集まり、
概念クイズ

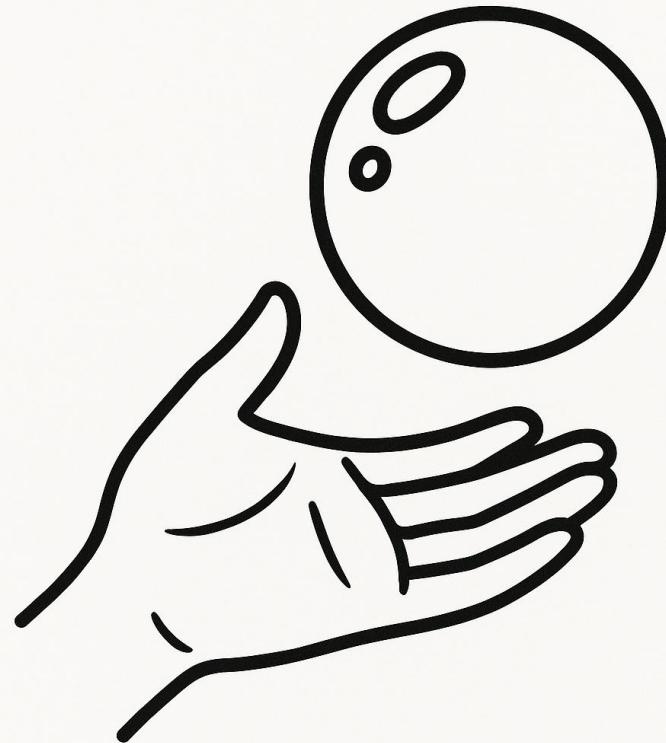


confidence
connection
excitement
dream
goal
interest



概念を
当てる

Students' Metaphors for *Dreams*



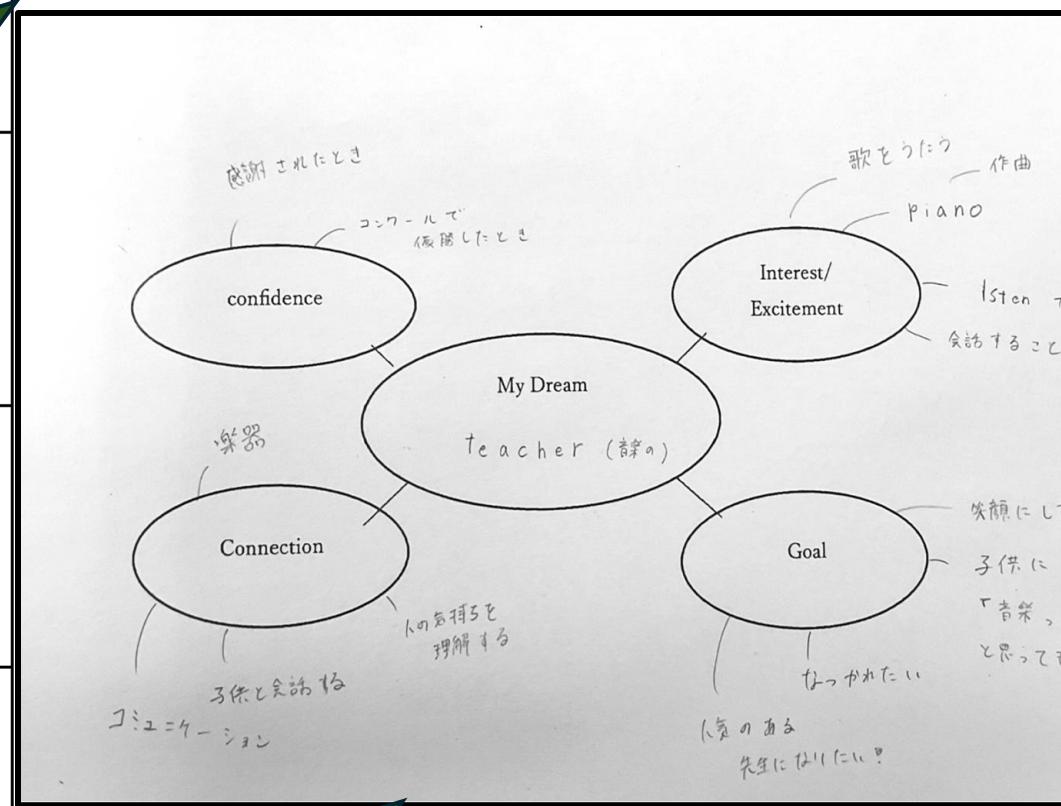
A dream is like a soap bubble because it disappears if I try to catch it.



A dream is like a tower because it is tall and makes me want to climb it.

概念抽出：概念レンズを通してモデルスピーチ、教科書、名言などを読む

	Speech	Concept
Intro	<p>Hello, everyone.</p> <p>My name is Sora, and I am excited about my exciting future.</p>	モデルスピーチを読み、概念と結びつける
Body 1	<p>First, let me share what makes me excited.</p> <p>I feel excited when I play music and perform in front of people.</p> <p>I also enjoy listening to different kinds of music from around the world.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - excitement
Body 2	<p>Second, my interest in music is very strong.</p> <p>I practice the piano every day.</p> <p>When I play well, I feel confident.</p> <p>Music gives me energy and hope.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - interest - confidence
Body 3	<p>Third, in the future, I hope to create music that makes people smile.</p> <p>My dream is to connect people through music.</p> <p>I believe music can bring people together, even if they speak different languages.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - goal - dream - connection between people
Body 4	<p>Finally, I believe doing my favorite things gives me the power to follow my dream.</p> <p>It's not always easy, but because I love music, I will keep trying.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - connection between interest and dream
Conclusion	<p>This is my exciting future. Thank you for listening!</p>	



6つの概念に関連するスピーチのアイデアを出す

整理：アイデアを出し、下書きをする

生徒のスピーチ原稿例

Hello, everyone. My name is M. Today. I will talk about my exciting future.

interest

I'm interested in music from other countries and foreign languages.

goal

Recently, I started studying Korean two years ago because I like K-pop music, and I want to understand the meaning of the lyrics.

As a result, I have come to want to know more about languages and cultures of many countries.

Connection

excitement

I like talking with my friends. I feel excited when I make new friends.

So, in the future, I want to be a flight attendant.

dream

This is because I want to meet and talk with many people from other countries.

When I talk to them, I can learn about their languages and cultures.

For these reasons, I think this job is perfect for me.

confidence

This is my exciting future. It's not easy to make my dream come true, but I will try my best. Thank you for listening.

confidenceに関する概念理解の変化

単元前

成果・結果重視

「何かに成功したとき」
に感じるもの

他者評価依存

「ほめられたとき」
「他の人よりできる」
ときに生まれるもの

抽象的・先天的理解

「うまれもった性格」
「自分を信じること」
という漠然とした捉え方

単元後

プロセス重視

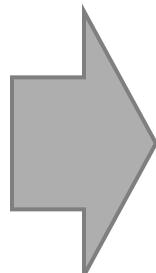
「小さな努力の積み重ね」によって育まれる

自己内対話

「自分で作るもの」
「自分と向き合う」
ことで得られるもの

失敗からの学び

「チャレンジが自信につながる」という成長思考



教科書を用いた3事例からの示唆

事例① 人物紹介から事物の説明への転移

概念を拡張しながら転移 speaking→writing

事例② 読解素材を実体験へつなげ振り返る

実体験の言語化とその振り返りから自己肯定感

事例③ アウトプットで概念再構築

概念理解促進活動と概念を通した英文分析を
基にし、概念の再構築で、「書く」ために「読む」

年間思考力・英語力調査

- ・思考、自己管理、英語力など6つの要素
- ・プレ初級、初級、中級、上級の4段階
- ・事前・事後の分布変化を見る

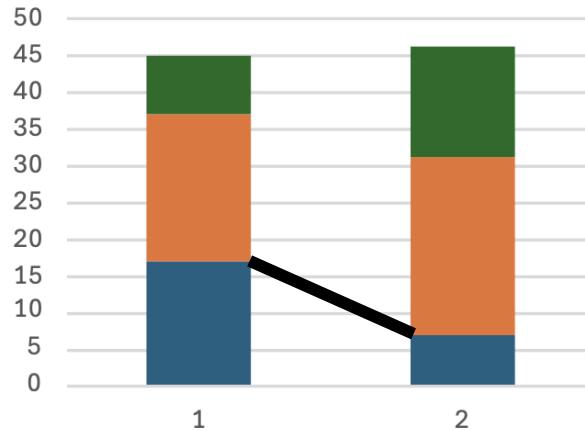
*国際バカロレアのApproaches To Learning(ATL)を参考

中間分析

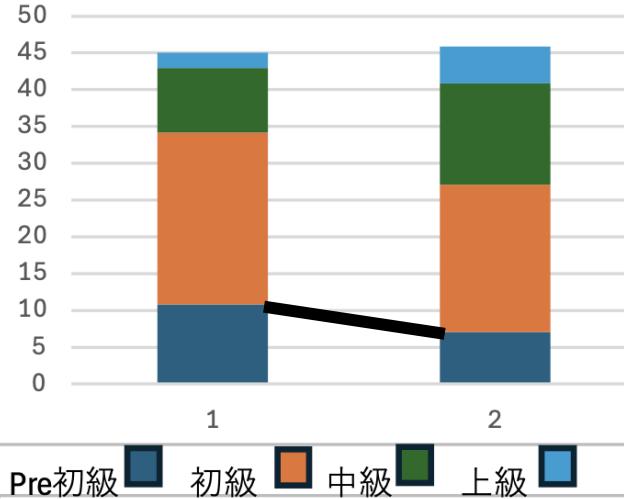
- ・3年生の概念型指導
- ・「音楽の力」をテーマのライティングをゴールにし、メタファ・ゲームを実施した
- ・4月と7月にとれたデータの分析

	Pre	初級	中級	上級
1 思考	自分の考えに近い表現を教科書や友だちの発言から探す。	自分の考え(point)と、理由(reason)を簡単な英語で述べることができる。	理由や具体例(example)を述べ、but, also, for exampleなどで話す順序を工夫できる。	異なる意見を尊重しながら、自分の考えを深め、よりよい社会や周囲を意識して意見をまとめられる
2 リサーチ	「なぜ?」「どうして?」と先生や友だちに聞ける。	必要な情報を見つけることができる。	情報源を調べ、検討することができる。	複数の情報から最も適切なものを選べる。
3 自己管理	活動に参加し、まわりの人見ながらやってみる。	授業に必要なものを管理し、周りのサポートを信じ、自分のことを話し、間違いを恐れず課題に取り組む。	自分の学びを振り返り、うまく行かないことがあっても、時間や学習のやり方を工夫できる。	自分で目標を立て、見通して計画し、計画を修正しながら取り組む。
4 コミュニケーション	うなづくなどリアクションを返せせる。	自分の好みや気持ちを、単語を選んで話したり、書いたりしようとする。	目的・場面・状況に合わせた表現を選んで話したり、書いたりする。	目的・場面・状況に合わせた構成を選んで話したり、書いたりする。
5 社会性	友だちの話を聞き、誰かの意見を参考にする。	自分が失敗した時、自分で、または周りのサポートを得ながら、それに対処できる。	仲間をサポートし、ともに自分ごととして身の周りの課題に取り組む。	日本と世界の国々の良さを知り、持続可能な共存の方法について考えることができる。
6 英語	英語の単語やフレーズに気づく。	学んでいる英語の単語、表現、用法が理解できる。	繰り返し練習をし、目標表現等を似た場面に応じて使えるようになる。	学んだ表現などを複数組み合わせ、異なる場面に応じて即興で話したり書いたりする。

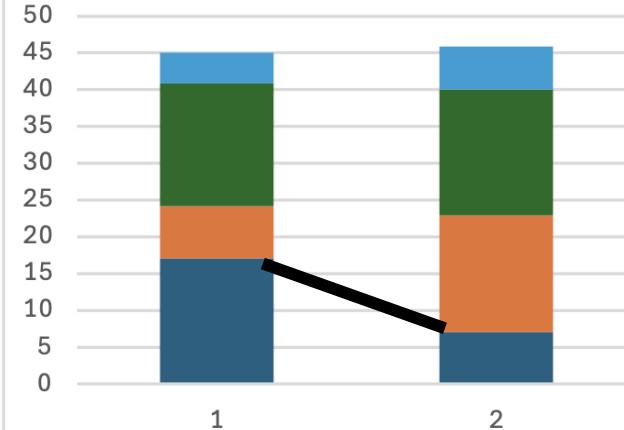
思考



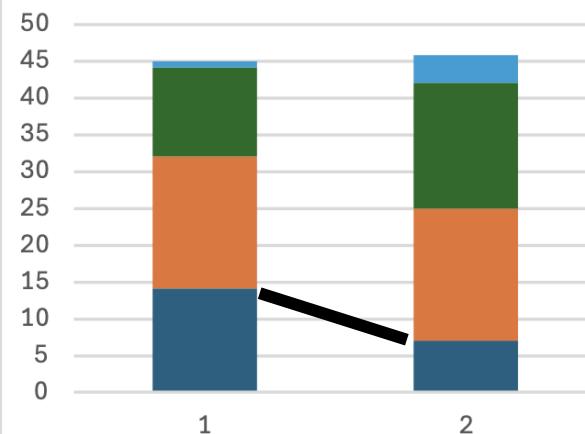
リサーチ



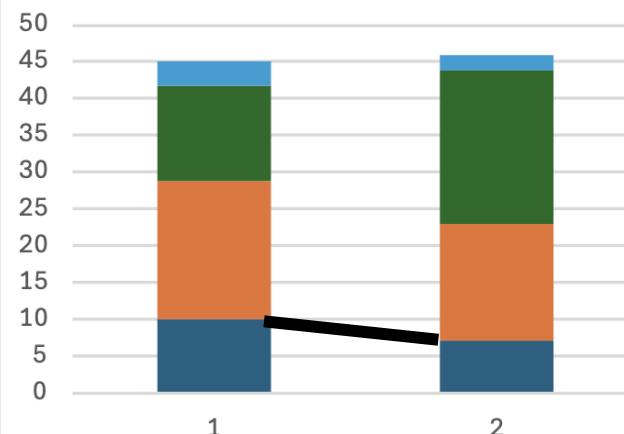
自己調整



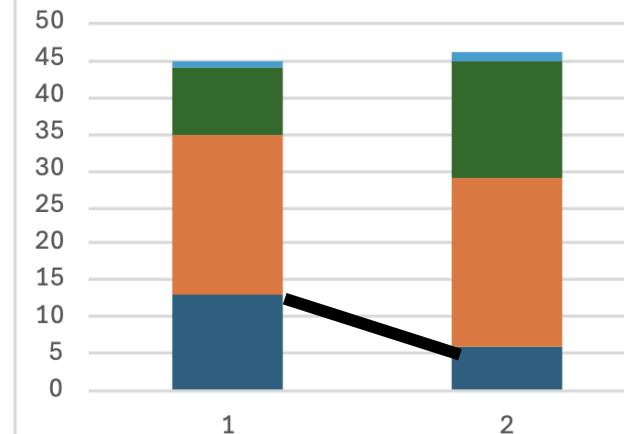
コミュニケーション



社会性

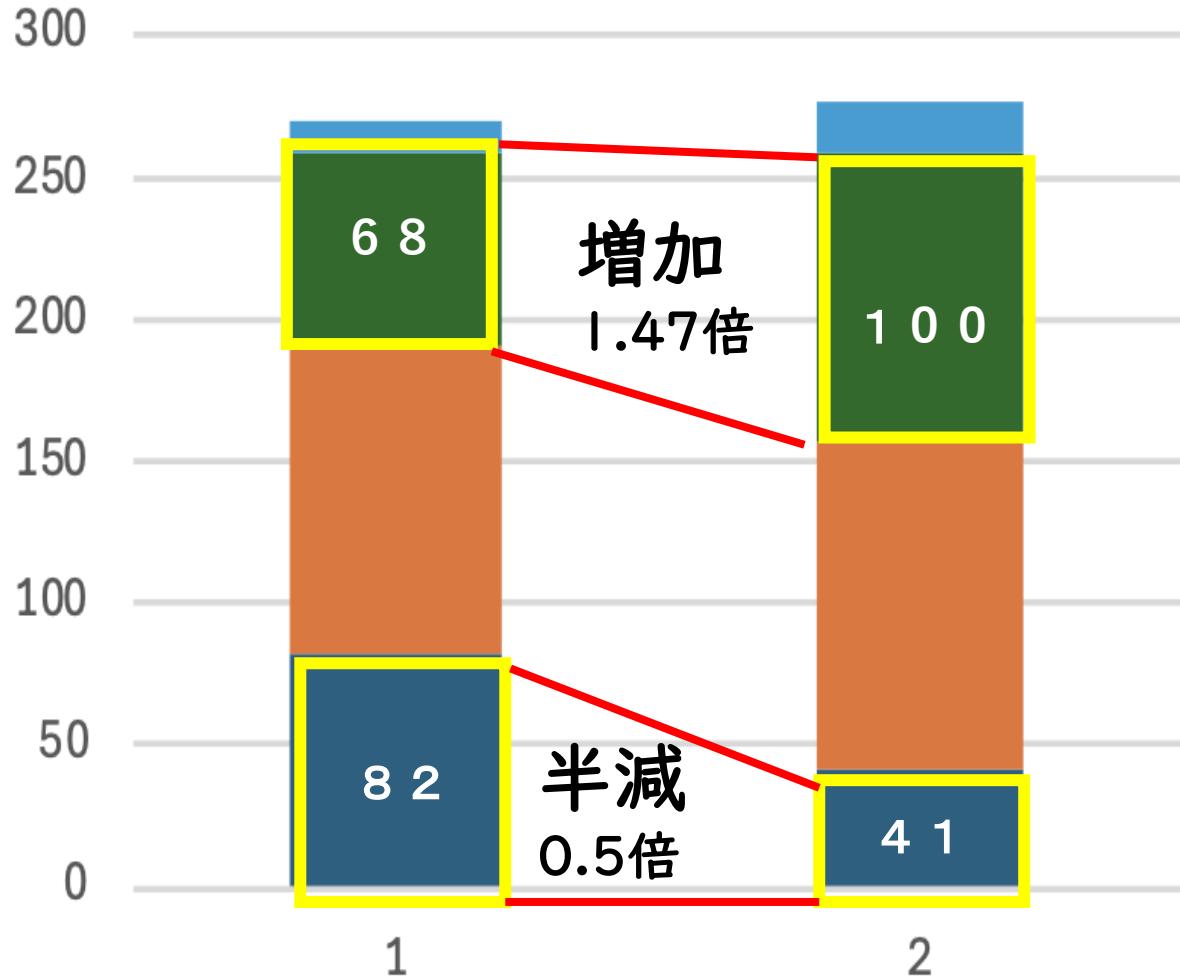


英語



Pre初級 初級 中級 上級

6項目の合計



概念型指導は難しくスローラーナーには向かないという思い込みを是正する契機

6項目の合計

χ^2 二乗検定

有意差傾向
($p < .01$)

残差分析の結果

事前: Pre初級が多い
中級が少ない
($p < .01$)

事後: Pre初級がない
中級が多い
($p < .01$)

中高で使える授業案等noteでご覧ください。

<https://note.com/conceptnavi>



dill weed thyme oregano parsley basil



概念型はスローラーナーも大切にする



コンナビ 10か月前

『思いやりマップを作ろう!』Create a
Caring Map! 高校での事例

概念型プロジェクトに
ご参加しませんか?

参加連絡先 mizohata_white@yahoo.co.jp

